

我が社の  
障害者雇用

# 神戸電機産業株式会社

## Yes, We Can !

"決してNOと言わない"

これが私たち神戸電機産業の誇りです。



### 会社概要

- 代表者 ● 代表取締役社長 勝山 秀明
- 本社所在地 ● 明石市大久保町（本社工場）
- 事業内容 ● 設計・開発／製造（巻線・組立）／検査／販売／技術提案
- 従業員数 ● 124名 うち障害者数9名  
【身体障害6名、聴覚障害1名、精神障害2名】



## 障害者雇用について人事担当者にインタビュー

### 障害者雇用推進のきっかけ・経緯は？

障害者の雇用には以前から取り組んでおり、先代社長の「障害の有無は関係なく、働く機会は平等であるべきだろう。」という方針を現在も引き継いでいます。

以前は新しく障害者の採用に取り組むことは少なかったのですが、明石市から人権に関する取り組みを発表する機会をいただいた後、弊社の職場環境やどのような方が就労されているかなど、障害者の仕事に関して学校から声を掛けられるようになりました。

その他、厚生労働大臣賞の受賞や兵庫県障害者就労応援企業に登録した事で行政関係からも問い合わせがあり、これらがきっかけで採用につながる事が多くなっています。



インタビューの様子

## 採用はどのように？

特別支援学校から紹介いただく事が今は多くなっています。最近では、聴覚障害のある方が通う学校から年に一度、一週間の実習に来ていただき、卒業後に希望があれば採用しています。本人の特性や希望もありますので即雇用とは行きませんが、毎年実習を行い出来る限り就業体験の機会を設けるようにしています。また、もともと働いていた健常者が事故で障害を持つようになり、以前の仕事ができなくなりました。

が、継続して働いていただくため、立ち仕事から座り仕事に変更するなど、本人の特性を活かした配置転換を行い現在も就労してもらっています。

## 採用された方はどのような職種に就かれていますか？

基本的には障害者と健常者を分けてはいません。特殊な品物を作っていますので、流れ作業の1つの工程だけではなく、全体の工程を任せています。人員が不足している作業場があれば一時的に手伝ってもらえるので本当に助かっています。

適性に合わせて足に障害のある方には移動せずできる作業を任せたりと、負担を掛けないよう心がけています。



現場スタッフとともに

## 障害者雇用で感じたこと、今後の課題は？

ものづくりをして行く中で単純作業や繰り返し作業を敬遠する人もいますが、細かい作業が得意な人もいます。全体を見渡す人も必要ですし、きちっと細かい作業をしてくれる人も必要です。障害者の中には集中力を長く持続できる方が多く、ある分野では、健常者以上の力を発揮し、大活躍してくれています。本当に無くてはならない「人財」です。



作業風景

最近では、聴覚障害のある方が通う学校とのパイプが太くなってきましたので、聴覚障害のある方を雇用するにあたり、職場でのコミュニケーションがとりやすい環境を準備していきたいです。まだまだ課題もありますが、障害のある方に負担を掛けない働きやすい会社にしていきたいと考えています。



作業場の風景

## 雇用管理・サポート体制などで工夫されている事は？

障害のある方に負担がかかりすぎないように、現場のリーダーがフォローだけでなく、特性を考慮した作業の割り振りをしています。職場環境においても「障害者のため」ではなく「全体の作業効率を上げるため」にサポートしています。手すりを付けたり段差を無くしたりといった働きやすい職場づくりは、効率UPを考えていく中で自然と生まれた取り組みの効果です。

## 最後に、これから障害者雇用に取り組もうとしている企業へのメッセージをお願いします。

障害者雇用を始める際に「バリアフリーにして働きやすい環境にしないといけない」などと気負いすぎてしまうと長続きしないです。何でも継続することが一番大事なので、できることから始めて、気づいた事を少しずつ改善すればいいと思います。採用活動をする際も、全ての業務ができる人を探すのは難しいですが、任せたい仕事を絞れば、募集もしやすくなります。応募者には、障害者や、外国人など色々な方がおられますが、企業が正しく成長していく事を目指していれば企業に入ってくる人は誰でもいいのではないかと私は思います。

## 勤務されている方へのインタビュー

### いつからこの会社に勤めていますか？

現在で2年目になります。

### どのような仕事に従事されていますか？

主に部品をテープで止め、計量する作業をしています。次工程で組み立て作業を行い、新幹線などで使うコイルになります。

### この会社に勤めて良かったと思う事は？

組み立ての仕事をしている中で、自分の得手不得手がわかるようになり、一步一步前に進めていると実感出来ている事です。

### 今後の自分への課題・目標などあれば教えてください。

作業時間の平均は、ブロックにまとめた部品を1時間に200個作る事ですが、最近では240個作れるようになりました。目標は、250個、260個ともっとスピードアップしていきたいです。整理整頓にも気を付け、安全に作業できるよう心がけています。



計量作業中の様子